

株式会社日本格付研究所（JCR）は、以下のとおり信用格付の結果を公表します。

## トア再保険株式会社（証券コード：-）

### 【据置】

長期発行体格付	A A +
格付の見通し	安定的
保険金支払能力格付	A A +
格付の見通し	安定的
債券格付（期限付劣後債）	A A -
国内C P 格付	J - 1 +

### 格付事由

- (1) 国内唯一の総合再保険専門会社。国内再保険事業に加え、欧米やアジアなど海外でも事業展開しており、北米に子会社 The Toa Reinsurance Company of America (TRA) を擁する。当社の格付は、国内損害再保険事業における安定した事業基盤、事業ポートフォリオの多様化の進展、リスク対比でみた資本充実度の改善状況などを反映している。
- (2) 主力の国内損害再保険事業においては、株主である元受損保各社との関係を背景に安定的な事業基盤を有しており、国内再保険者としてのプレゼンスを堅持している。一方で国内の損害再保険市場は成長が見込みにくい上、自然災害にかかるリスクを引き受けることが避けられず、当社はリスク分散と財務基盤の安定化を図るため、海外損害再保険事業や国内外の生命再保険事業などの強化に取り組んできた。
- (3) 再保険市場のソフト化傾向が継続する中、欧州・アジアでは取引先との関係強化や引受先の拡大などを通じて収益性の向上に取り組んでいる。米国 TRA では中規模保険会社を主な顧客とし、収益ボラティリティの小さいビジネスを取り扱うほか農業再保険を中心に業容を拡大しており、業績はおおむね堅調に推移している。生命再保険事業では、死亡リスクの引き受けの拡大を図りつつ、成長の続く医療・介護など第三分野リスクの取り込みを進めている。比較的安定した保険収支が見込める生命再保険事業の成長に加え、自然災害や大口事故は発生したものの影響は小さく、コンバインド・レシオは90%台半ばと比較的良好的な水準にある。適切なリスク管理の下、事業ポートフォリオの多様化や地域分散を通じて財務基盤の安定性を確保できるか今後の動向を見守っていく。
- (4) 資産運用面では、信用力と流動性が高い債券を中心に ALM 運用を行っている。超低金利環境が継続するなかでも、過度なリスクテイクはみられない。株式などの価格変動リスクを含めても、有価証券にかかるリスクは管理可能な水準にある。
- (5) 中核的な自己資本は異常危険準備金の積み立てを含む内部留保の蓄積により改善が進んでおり、タイの大洪水発生前の水準まで回復している。17年7月に予定されているハイブリッド証券の期限前償還は格付に織り込み済みである。自然災害リスクの保有を抑制するなど各種リスク量は資本対比で問題ない水準にコントロールされているが、事業ポートフォリオの規模拡大と多様化が進む中、米国 TRA を含むグループベースでみた保険引受リスク管理がより重要性を増している。当社グループは、中期経営計画で ERM 態勢の高度化を数値目標達成のための土台と位置付けている。JCR はリスク・リターン分析を踏まえた経営戦略などへの ERM の活用状況に注目していく。

（担当）宮尾 知浩・加藤 雄紀

## 格付対象

発行体：トーア再保険株式会社

### 【据置】

対象	格付	見通し
長期発行体格付	AA+	安定的
保険金支払能力	AA+	安定的

対象	発行額	発行日	償還期日	利率	格付
第1回利払繰延条項・期限前償還条項付無担保社債（劣後特約付・適格機関投資家限定）	300億円	2012年3月21日	2062年7月20日	（注）	AA-

（注） 2017年7月20日まで固定。その翌日以降変動

対象	発行限度額	格付
コマーシャルペーパー	100億円	J-1+

### 格付提供方針に基づくその他開示事項

- 信用格付を付与した年月日：2017年6月15日
- 信用格付の付与について代表して責任を有する者：松村 省三  
主任格付アナリスト：宮尾 知浩
- 評価の前提・等級基準：  
評価の前提および等級基準は、JCRのホームページ（<http://www.jcr.co.jp/>）の「格付関連情報」に「信用格付の種類と記号の定義」（2014年1月6日）として掲載している。
- 信用格付の付与にかかる方法の概要：  
本件信用格付の付与にかかる方法の概要は、JCRのホームページ（<http://www.jcr.co.jp/>）の「格付関連情報」に、「コーポレート等の信用格付方法」（2014年11月7日）、「損害保険」（2013年7月1日）、「ハイブリッド証券の格付について」（2012年9月10日）、「金融機関等が発行する資本商品・TLAC商品の格付方法」（2017年4月27日）として掲載している。
- 格付関係者：  
（発行体・債務者等） トーア再保険株式会社
- 本件信用格付の前提・意義・限界：  
本件信用格付は、格付対象となる債務について約定通り履行される確実性の程度を等級をもって示すものである。  
なお、本件期限付劣後債につき、約定により許容される利息の支払停止が生じた場合、当該支払停止は「債務不履行」に当たらないが、JCRでは債務不履行の場合と同じ「D」記号を付与することとしている。  
本件信用格付は、債務履行の確実性の程度に関してのJCRの現時点での総合的な意見の表明であり、当該確実性の程度を完全に表示しているものではない。また、本件信用格付は、デフォルト率や損失の程度を予想するものではない。本件信用格付の評価の対象には、価格変動リスクや市場流動性リスクなど、債務履行の確実性の程度以外の事項は含まれない。  
本件信用格付は、格付対象の発行体の業績、規制などを含む業界環境などの変化に伴い見直され、変動する。また、本件信用格付の付与にあたり利用した情報は、JCRが格付対象の発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものであるが、当該情報には、人為的、機械的またはその他の理由により誤りが存在する可能性がある。
- 本件信用格付に利用した主要な情報の概要および提供者：  
・格付関係者が提供した監査済財務諸表  
・格付関係者が提供した業績、経営方針などに関する資料および説明
- 利用した主要な情報の品質を確保するために講じられた措置の概要：  
JCRは、信用格付の審査の基礎をなす情報の品質確保についての方針を定めている。本件信用格付においては、独立監査人による監査、発行体もしくは中立的な機関による対外公表、または担当格付アナリストによる検証など、当該方針が求める要件を満たした情報を、審査の基礎をなす情報として利用した。
- JCRに対して直近1年以内に講じられた監督上の措置：なし

### 留意事項

本文書に記載された情報は、JCRが、発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものです。ただし、当該情報には、人為的、機械的、またはその他の事由による誤りが存在する可能性があります。したがって、JCRは、明示的であると黙示的であることを問わず、当該情報の正確性、結果的正確性、適時性、完全性、市場性、特定の目的への適合性について、一切表明保証するものではなく、また、JCRは、当該情報の誤り、遺漏、または当該情報を使用した結果について、一切責任を負いません。JCRは、いかなる状況においても、当該情報のあらゆる使用から生じうる、機会損失、金銭的損失を含むあらゆる種類の、特別損害、間接損害、付随的損害、派生的損害について、契約責任、不法行為責任、無過失責任その他責任原因のいかなるものを問わず、また、当該損害が予見可能であると予見不可能であるとを問わず、一切責任を負いません。また、JCRの格付は意見の表明であって、事実の表明ではなく、信用リスクの判断や個別の債券、コマーシャルペーパー等の購入、売却、保有の意思決定に関して何らの推奨をするものでもありません。JCRの格付は、情報の変更、情報の不足その他の事由により変更、中断、または撤回されることがあります。格付は原則として発行体より手数料をいただいております。JCRの格付データを含め、本文書に係る一切の権利は、JCRが保有しています。JCRの格付データを含め、本文書の一部または全部を問わず、JCRに無断で複製、翻案、改変等を行うことは禁じられています。



#### NRSRO 登録状況

JCR は、米国証券取引委員会の定める NRSRO (Nationally Recognized Statistical Rating Organization) の 5 つの信用格付クラスのうち、以下の 4 クラスに登録しています。(1)金融機関、ブローカー・ディーラー、(2)保険会社、(3)一般事業法人、(4)政府・地方自治体。米国証券取引委員会規則 17g-7(a) 項に基づく開示の対象となる場合、当該開示は JCR のホームページ (<http://www.jcr.co.jp/en/>) に掲載されるニュースリリースに添付しています。

#### 本件に関するお問い合わせ先

情報サービス部 TEL : 03-3544-7013 FAX : 03-3544-7026

## 株式会社 日本格付研究所

Japan Credit Rating Agency, Ltd.

信用格付業者 金融庁長官 (格付) 第 1 号

〒104-0061 東京都中央区銀座 5-15-8 時事通信ビル